

第二主日礼拝

午前 11:00-12:00

YouTube 配信

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 65 篇 1-4 節 (旧約 997)

賛 美 わがため傷つき(教会福音 114)

交 読 詩篇 29 篇 1-11 節 (旧約 959)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 マタイの福音書 16 章 13-20 節 (新約 33)

牧者公禱

説 教 『わたしをだれだと言いますか』 松井 元始 牧師

応答のとき

賛 美 たたえよ 救い主イエスを (教会福音 39・献金とともに)

頌 栄 世をこぞりて (教会福音 270)

祝 祷

後奏・黙祷

◆次週(2月21日)の予定

・主日礼拝【YouTube 配信】 午前 11:00~12:00

*さんび=イ 215、イ 593、イ 5

*説教 「とんでもないこと」(マタイ 16:21-28)

【ご案内と報告】

- ・11 日の教団総会で新代表に岩上祝仁先生(神戸)が選出されました。その他の総会人事は別途お知らせします。主の助けと導きをお祈りしましょう。
- ・昨晚(13 日)の福島沖の地震の被害・影響を受けておられる近しい方々はありますならお知らせください。郡山教会は物の散乱等がひどかったそうです

インマヌエル王子キリスト教会 牧師:松井元始

〒114-0023 北区滝野川 1-41-6 Tel/Fax 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>E-mail: immanuelojchurch@gmail.com

銀行振込:みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『わたしをだれだと言いますか』(マタイの福音書 16:13-20) 2021.2.14.
<はじめに> 「相手を知っている」と言っても、そのレベル・内容は様々です。名前・顔を知ること
辺りから始まり、行動・能力・特徴・性格などを接する中でつかみ、常に更新深化されます。これは
人間関係だけでなく、神様についても同じです。

I 人の子をだれだと(13-14)

①ピリポ・カイザリア(13)

ガリラヤ湖から北へ約 40 km、ヘルモン山南麓に広がる高原で、ヨルダン川の水源の一つです。ヘロデ大王の子ヘロデ・ピリポが建てたローマ皇帝崇拜の神殿がある町です。イエスが、このユダヤ境界の地に弟子たちを導かれた意図はあったのでしょうか。

②最初の質問(13-14)

イエスは自身を「人の子」と好んで称します。イエスはまず世の人々が自分を何者だと言っているのかを弟子に問われます。人々は、バプテスマのヨハネ(14:1-12)、著名な預言者エリヤ・エレミヤ、昔の預言者と重ね合わせて見ていました。

③情報収集と私たち

人々が口々にいろんなことを言います。全てが嘘過ちでなくても、個人的な意見・推論・願望・噂などが混ざっていて、真実とは似て異なるものです。それを鵜呑みにせず、自ら真実を確かめる必要があります。そのためにどんな方法を活用していますか。

II わたしをだれだと(15-16)

①核心の質問(15)

あなたがた「は」は区別の助詞で、イエスは弟子たち自身の理解を尋ねます。イエスとともに歩み語らい、傍らで教えや御業を見聞きする者が、イエスをどう理解しているかです。この問い掛けは福音書の核心であり、私たちにも向けられています。

②生ける神の子(16)

代表してシモン・ペテロが答えました。朽ちるもので昔作られた神ではなく、昔も今も永遠までも働かれる造り主なる神が、人となってこの世に生きておられます。また私たちとは全くかけ離れた偉大な御方です(イザヤ 55:8-9、ロマ 11:33、1コリント 1:25)。

③キリスト(16)

偉大で優れた方に未熟で欠けだけの者が近づくことは恐れ多いことです。しかし主は、近づくようとする者に手を差し伸べ、助け導き、支える方です(14:30-31)。イエスはキリスト(救い主)ですと認めることと、イエスは私の救い主と告白することは同じでしょうか。

III あなたは幸いです(17-20)

①父が明らかにされた(17)

人が、イエスを生ける神の子キリストであると知り、信頼を告白できるのは、知識・経験・思索だけによるものではありません。天の父なる神が覆いを取り除き明らかにしてくださいからです。だから誇ることはできません。神のあわれみと恵みをほめたたえるのみです。

②この岩の上に、わたしの教会を(18)

答えたペテロを掛詞にして、16 節の告白を土台にしてイエスはご自分の教会を建てると宣言されます。教会(エクレシア)は主に呼び出された者たちという集合名詞です。死と滅びに至るよみの門に吸い込まれる他ない私たちを、呼び出し引き止めてくださいます。

③天の御国の鍵(19)

加えて天の御国に自らも入れ、また自らが招き入れることもできる鍵を与えられます。それを地上でどう使うかが、天と直結しています。鍵を委ねられた者の責任は重大です。私たちは誰を思い浮かべ、この鍵を使いたいですか。

<おわりに> 20 節の禁止命令はどうしてなのか、何のためなのかは、思い巡らしてください。この信仰告白はまず誰に向けて告げるべきでしょう。かつて主を告白した方も、今、イエスがだれで、どんな御方だと言いますか。それは更新深化されているのでしょうか。(H.M.)